



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日) 《3月の休館日》6日(木)、10日(月)～15日(土)、21日(金)、27日(木)

蔵書点検期間の休館について

3月10日(月)～15日(土)

上記日程で休館いたします。
ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。
休館中のご返却は、虹のプラザ入口横の「返却ポスト」へお願いします。

保健福祉課連携
自殺対策強化月間展示

「つかれたな」 とおもったら ひとやすみ

3月は、進級や就職などで生活環境が大きく変わり、ストレスや不安を抱え込みやすい時期です。心に関する本や心の健康づくりに役立つ本のほか、読むと癒される・心がほっとする本を展示します。読書で「ほっ」とする時間をすごしてみてください。

3月の展示

ひなまつり特集

今月は、どの本を読む?

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します!



『泉鏡花きのこ文学集成』

(泉 鏡花 // 著、飯沢 耕太郎 // 編 作品社)
「苧の舞姫」「木の子説法」など、“世界に冠たる「きのこ文学」作家”泉鏡花の8作品を集成。190種以上のきのこ図版を収録するほか、その魅力を説く「編者解説 きのこ文学者としての泉鏡花」も掲載。



『野崎洋光の缶詰でつくる本格和食』

(野崎 洋光 // 著 NHK出版)
さばみそのお好み焼き、ツナ卵焼きなど、缶詰でできるおいしい和食のレシピを紹介。必要のない下ごしらえなどは省きつつ、プロのような仕上がりになるコツも掲載する。NHK番組テキストをもとに増補、加筆、再構成。

『いばらの髪のノラ I 黄金の心臓』

(日向 理恵子 // 作、吉田 尚令 // 絵 童心社)
魔女と人間が住む土地を分かち以前に、地上にとり残された<黄金の心臓>は魔法の力を正しく、強くする。自分の意思で魔法をかけることができない魔女のノラは、<黄金の心臓>を見つけ出すために、地上へ旅立ち…。



『賛否両論 料理人と家族』

(笠原 将弘 // 著、中岡 愛子 // 編 主婦の友社)
日本料理店「賛否両論」開業20年目。華やかな成功の陰には、母・父、妻を失った壮絶な苦しみがあった。業界の第一線で走り続ける、料理人・笠原将弘とその家族のドキュメンタリーエッセイ。7品のレシピも収録。



第4回

新春大石田かるた大会



新春大石田かるた大会が、1月19日(日)に虹のプラザ「なないろホール」で開催されました。

町の観光名所や偉人など様々な“良いところ”が集まった大石田かるたを使って毎年「新春大石田かるた大会」を開催しています。この日は、町内の園児から大人まで過去最多の123人が参加し、白熱した戦いを繰り広げました。

大会結果



協賛企業

企業・団体名(順不同)	
株式会社大石田町地域振興公社 様	
いげたや庄司醸造株式会社 様	
株式会社最上川千本だんご 様	
みちのく村山農業協同組合 様	
大石田町新作物開発研究会 様	
株式会社ブリッジ(次年子窯) 様	
KOE no KURA (こえのくら) 様	
株式会社うろこや総本店 様	
蕎麦屋 まんきち 様	
手打ち大石田そば きよ 様	
大石田ライオンズクラブ 様	

ジュニアの部		ジュニアの部(未就学児)	
優 勝	渡邊 果穂(南小)	優 勝	遠藤 華梨衣 (ふたば横山保育園)
準優勝	高橋 来輝(南小)		
第3位	遠藤 茉莉衣(南小)	準優勝	伊藤 往誠 (ふたば横山保育園)
	栗田 喜生(大小)		
一般の部		ファミリーの部	
優 勝	寺寄 結恵(大中)	優 勝	伊藤 晃誠・往誠(兄弟)
準優勝	柏倉 彩希(大中)	準優勝	高橋 理恵・亘輝(親子)
第3位	星川 紗希(大中)	第3位	小内 由依・ゆに(親子)
	早坂 芽衣(大中)		笹原 恵美・茉侑(親子)
団体の部			
優 勝	豚キムチ三兄弟(早坂 瑠那・早坂 芽衣・早坂 咲希)(大中)		
準優勝	大中一年女子(斎藤 美月・大山 凜久・寺寄 結恵)(大中)		
第3位	バレー部1年ダズ(柏倉 彩希・芳賀 愛来・星川 紗希)(大中)		
	ファブルグミ(六沢 萌愛・遠藤 日緒莉・井上 こはる)(大中)		

「真綿のような心」
町長コラム
「次世代へ虹をかける」
vol.14

こんにちは！立春が過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだまだ寒い日が続いています。体調を崩しやすい季節でもありますが、お身体に気をつけてお過ごしください。

さて、今年、大石田町は新町発足70周年を迎えました。町としてもそれに合わせ様々な企画を検討しております。新町発足45周年の時には、斎藤茂吉さんの息子さんである医師で随筆家の斎藤茂太さんから町へ寄稿していただきました。その中で大石田町民について次のように記しています。

「山形といえど敗戦後の食糧不足の時代に、ご自分達は糶飯(かてめし)を食べても茂吉には白米を食べさせて下さった方々。貴重な鯉料理を供して下さった方々。私はこの地を訪れるたびに、この町の方々の計り知れない

善意に心うたれる。それは真綿のように軟かく暖かい。その真綿に包まれて、父は誰に遠慮することなく思いきり山形弁を喋り、人びとに甘えることができた。」

古くは「奥の細道」を書いた松尾芭蕉、そして斎藤茂吉、その他多くの文人墨客が町を訪れ、「おもてなしの心」に感銘を受けました。大石田町民の真綿のような「おもてなしの心」は昔からずっと引き継がれてきた素晴らしい文化、財産だと思います。ここ最近、海外からのインバウンド、そして県内外から多くの観光客が町を訪れていますが、お迎えするにあたって10年先、20年先、そして100周年を迎えても持ち続けていきたい『町民の心』ですね。

大石田町長 庄司 中

